

2005.3



製品別安全性能比較評価一覧

チャイルドシート アセスメント

JNCAP



国土交通省



独立行政法人自動車事故対策機構

チャイルドシートの安全性能試験

(チャイルドシートアセスメント)とは？

国土交通省と自動車事故対策機構は、自動車アセスメントの一環として、平成13年度から市販のチャイルドシートの安全性能について試験をして、その結果を公表しています。

チャイルドシートアセスメントの目的は、信頼できる安全性能評価を公表して、より安全な製品を選択しやすい環境を整えるとともに、製作者によるより安全な製品の開発を促すことによって、安全なチャイルドシートの普及を促進しようとするものです。

チャイルドシートアセスメントにおいては、前面衝突試験と使用性評価試験を実施しています。

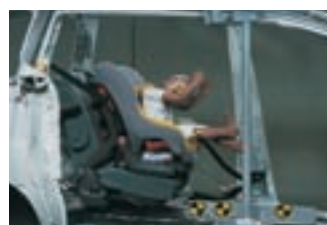
今回の試験対象製品は、新基準、米国基準及び欧州基準に適合した製品のうち、平成15年4月から16年3月までの1年間の出荷台数等（輸入品を含む。）を勘案して上位のものを基本に選定し、あわせて、チャイルドシートメーカー等からの申し出があったものも対象としています。

なお、今年度実施したもののほか、過去に実施した製品、米国基準及び欧州基準に適合した製品についてもその結果を掲載しています。

前面衝突試験

前面衝突試験は、前面衝突時におけるチャイルドシートによる子供の保護性能を評価するために行います。

試験では、子供用ダミーを乗せたチャイルドシートを骨組みのみの試験用車両の実際の2列目右側座席に取り付け、自動車の時速55kmでの前面衝突時と同様の衝撃を発生させます。その時、ダミーの頭部、胸部に受けた衝撃やダミー頭部の挙動などでチャイルドシートの安全性能を評価しています。



- 衝突速度は時速55kmで、自動車アセスメントのフルラップ前面衝突試験時と同じです。これは、より高い安全性能を評価する観点から国の安全基準（道路運送車両の保安基準）における衝突試験の速度（50km/h）の1割増しで実施しています。
- 試験の対象は、乳児用チャイルドシート（後ろ向きのは9か月児ダミー（P3/4）を、ベッド型のは横向きに6か月児ダミー（CRABI 6か月児ダミー）をそれぞれ乗せる。）と幼児用チャイルドシート（前向きに3歳児ダミー（HybridⅢ-3Y0）を乗せる。）です。
- 試験用車両には、トヨタ・エスティマを選定しました。なお、別の車種で試験を行った場合は結果が異なる可能性があります。
- 昨年度のアセスメントより、幼児用チャイルドシートの腹部圧迫の程度について評価を行うため面圧計を使用した定量的な測定を行いました。

● 試験方法 ●

チャイルドシート装着位置



ダミー腹部への面圧計の装着

使用性評価試験

チャイルドシートが実際に使用される際、誤った取り付けなどが多数、見受けられます。使用性評価試験は、このような誤った使用を防止する観点からチャイルドシートの構造や表示などについて評価するために行います。

試験では、ユーザーが自動車の座席にチャイルドシートを取り付ける際に、確実に取り付けられるように配慮されているかなどを、右の評価項目ごとに複数のチャイルドシートの専門家が判定しています。



- 取扱説明書等…座席への取り付け方法、子供の乗せ方などについて分かりやすく説明されているかどうか
- 本体表示…座席への取り付け方法、子供の乗せ方などについて本体に分かりやすく表示されているかどうか
- 本体機構…リクライニング、回転機構は確実にロックするか、レバースイッチの位置が分かりやすいかなど
- 取付性…座席に取り付ける際、間違えにくいかなど、1人で容易に確実な締め付けができるかなど
- 装着性…ハーネスの長さ調節が容易か、子供の着座に要する時間が適切か、バックルは子供が解除しにくいかなど

前面衝突試験の評価方法

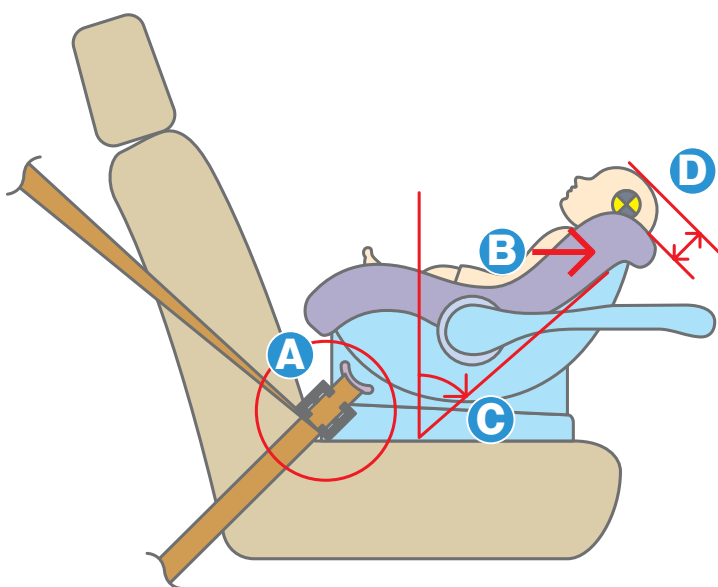
評価区分

優	◎が4つの場合（×が1つでもある場合は除く。）
良	◎が3つ、○が1つの場合（×が1つでもある場合は除く。）
普通	「優」、「良」および「推奨せず」に該当しない場合
推奨せず	評価項目の中で1つでも×があった場合

より高い安全性能を評価する本試験の観点からは、推奨するに至らないことを表しており、使用不可という意味ではありません。試験対象とした製品は、全て安全基準に適合しており一定レベルの安全性は確保されています。

項目別評価方法

乳児用（ベッド型を除く）



A 衝突によるチャイルドシート取付部等の 破 損

- ◎ チャイルドシート取付部等の破損がない
- 軽微な破損（亀裂等）があるが、拘束が保持されている場合等
- × 強度を保持している部分の破損であって、本来の構造をとどめていない場合等

B 衝突によって 胸部に生じる力（胸部合成加速度）

- ◎ 胸部合成加速度 ≤ 55G
- 胸部合成加速度 > 55G

※衝突時に子供の胸部に発生する加速度が大きいと、胸に傷害を受ける危険性があります。

C 衝突時のチャイルドシートの シートバックの傾き（角度）

- ◎ シートバックの傾き ≤ 60°
- 60° < シートバックの傾き ≤ 70°
- × シートバックの傾き > 70°

※衝突時にシートバックが倒れすぎると、背中以外で荷重を受け、肩等に負担がかかり、傷害を受ける危険性があります。

D 衝突時のチャイルドシート上端面からの 頭部のはみ出し

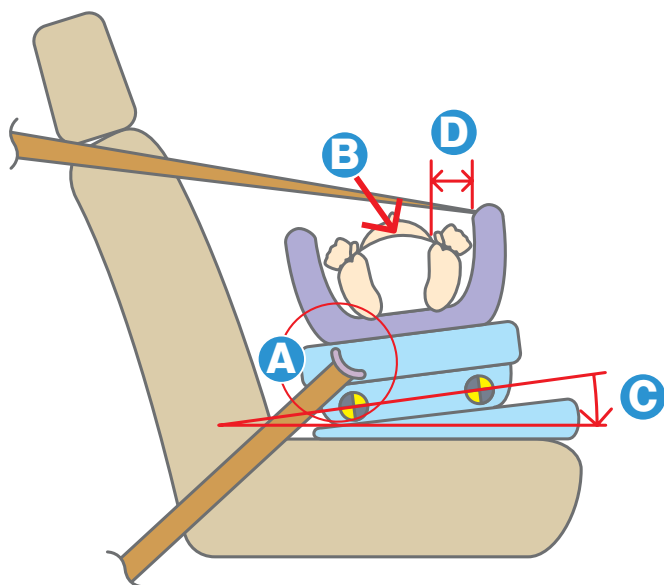
- ◎ 頭部のはみ出しがない
- 頭部のはみ出しが73mm以内
- × 頭部のはみ出しが73mmを超える

※衝突時に子供の頭部がチャイルドシート上端面から大きくはみ出すと、頭部に負担がかかり、傷害を受ける危険性があります。

衝突時に生じた その他の事象

- × 衝突時にバックルが解離した
- × 衝突時にチャイルドシート本体が座席ベルトから放出した

乳児用（ベッド型）



A 衝突によるチャイルドシート取付部等の 破 損

- ◎ チャイルドシート取付部等の破損がない
- 軽微な破損（亀裂等）があるが、拘束が保持されている場合等
- × 強度を保持している部分の破損であって、本来の構造をとどめていない場合等

B 衝突によって 胸部に生じる力（胸部合成加速度）

- ◎ 胸部合成加速度 ≤ 55G
- 胸部合成加速度 > 55G

※衝突時に子供の胸部に発生する加速度が大きいと、胸に傷害を受ける危険性があります。

C 衝突時のチャイルドシート 底面の傾き

- ◎ ベッドの底面が車両後方に傾く（頭部のはみ出しなし）
- ベッドの底面が傾かない（頭部のはみ出しなし）
- × ベッドの底面が前方に傾くまたは頭部のはみ出し

※衝突時にベッド底面が前方に倒れすぎると、背中以外で荷重を受け、肩等に負担がかかり、傷害を受ける危険性があります。

D 衝突時の 頭部の前方への移動量

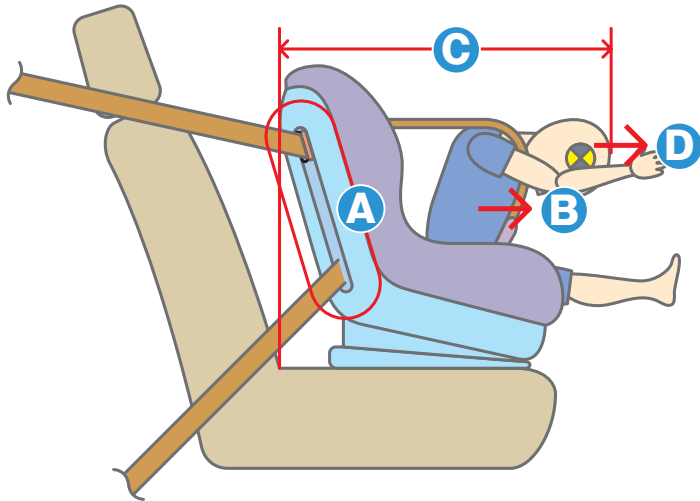
- ◎ 頭部移動量 ≤ 600mm
- 600mm < 頭部移動量 ≤ 750mm
- × 頭部移動量 > 750mm

※衝突時に子供の頭部が前方に移動しすぎると、前席に衝突し、傷害を受ける危険性があります。

衝突時に生じた その他の事象

- × 衝突時にバックルが解離した
- × 衝突時にチャイルドシート本体が座席ベルトから放出した

幼児用



A 衝突によるチャイルドシート取付部等の 破 損

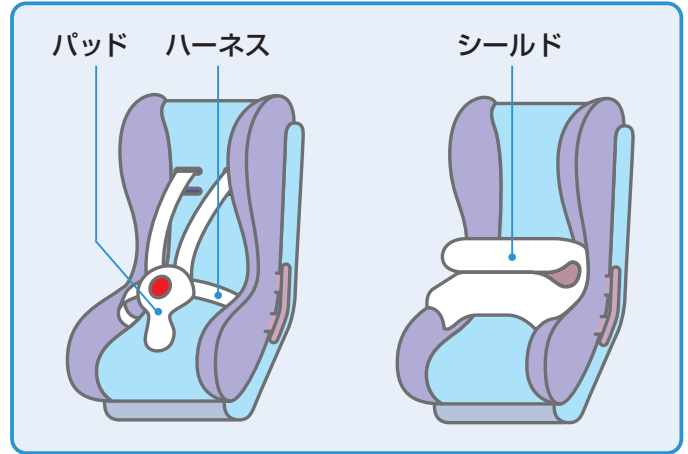
- チャイルドシート取付部等の破損がない
- 軽微な破損（亀裂等）があるが、拘束が保持されている場合等
- × 強度を保持している部分の破損であって、本来の構造をとどめていない場合等

B 衝突によって 胸部に生じる力（胸部合成加速度）

- 胸部合成加速度 ≤ 60G
 - 胸部合成加速度 > 60G
- ※衝突時に子供の胸部に発生する加速度が大きいと、胸に傷害を受ける危険性があります。

C 衝突時の 頭部の前方への移動量

- 頭部移動量 ≤ 550mm
 - 550mm < 頭部移動量 ≤ 700mm
 - × 頭部移動量 > 700mm
- ※衝突時に子供の頭部が前方に移動しすぎると、前席に衝突し、傷害を受ける危険性があります。



D 衝突によって 頭部に生じる力（頭部合成加速度）

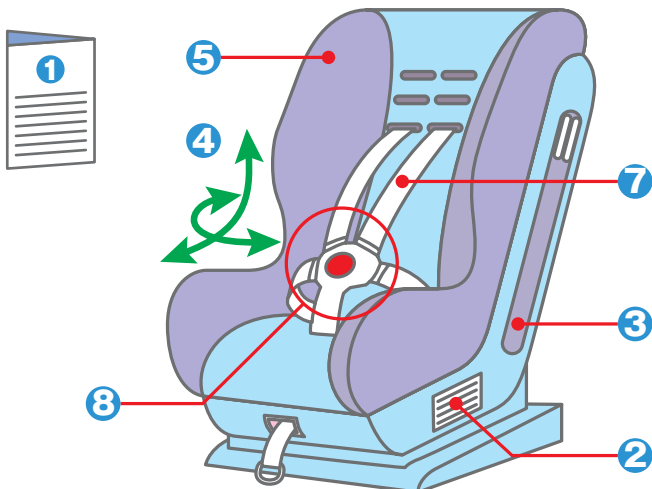
- 頭部合成加速度 ≤ 80G
 - 頭部合成加速度 > 80G
- ※衝突時に子供の頭部に発生する加速度が大きいと、頭部に傷害を受ける危険性があります。

衝突時に生じた その他の事象

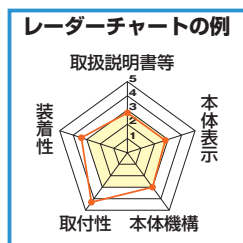
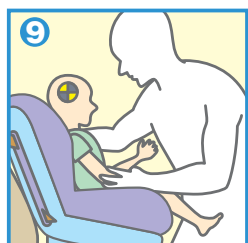
- × 衝突時にバックルが解離した
 - × 衝突時にチャイルドシート本体が座席ベルトから放出した
 - × 衝突時において、ハーネスが腹部等身体の弱い部分を圧迫する等幼児に傷害を与えるおそれがある
- ※幼児用の場合、ハーネスやシールド等が肩および骨盤において身体を拘束する必要があります。これらの拘束が適切でなく、身体の弱い部分（頸部、腹、股間等）を圧迫して身体を拘束している場合が該当します。また、腹部への圧迫について面圧計を用いて測定し、その値が1.38kNを超える場合は、×としています。

使用性評価試験の方法

内容ごとに点数をつけ、評価項目ごとの平均点を表示します。



(注) 評価は、チェック項目ごとに、標準的なレベルを3点として、1～5点で評価しています。



評価項目	対象	チェック項目の標準的なレベル
取扱説明書等	① 取扱説明書等	取り付けおよび装着について説明がある。技術基準に定めるすべての記述がある。 取り付けおよび装着について、図版と文章で理解ができる。 助手席装着時の警告がある。技術基準に定める表記がある。 取り付けおよび装着について、子供の体格別に説明がされている。 取り付け後の確認方法が記載されている。
	梱包箱の表示	対象となる体重、身長のみが表示（日本語）されている。技術基準に定める表示・適合基準表示がある。
本体表示	② 表示内容	取り付け方法の表示がある。 助手席装着時の警告がある。技術基準に定める注意・警告が表示されている。 表現が適切で、誤解が生じない。 製品の問い合わせ先が表示されている。 製品が適合する基準が表示（マーク等でも可）されている。
	③ ベルトガイド	文字によって表示している。
本体機構	④ 可動機構（リクライニング・回転の操作性）	確実にロックする。レバースイッチの位置が分かりやすい。
	⑤ シートカバー（メンテナンスの容易性）	シートカバーを脱着した場合、ハーネス等の取り付けが間違えにくく、確実に取り付けられる。
	収納部（取扱書・付属品の収納）	取扱説明書および付属品（ある場合）の収納部がある。
取付性（車の座席への取り付け）	ベルト・ルーティング	間違えにくく、通しやすい。車両側ベルトのねじれや折れが発生しない。 1人で容易に確実な締め付けができる（体重をかけてもよい）。 固定金具等は使いやすく、十分な固定ができる。
	⑥ 固定の確実性	前向き等・取り付け後ぐらつきがない（10kg以上で上部を引き寄せた時、移動量が30mm以上、50mm未満）。後ろ向き・シートバックの角度が45度±10度未満である（車両シートとの間に何かかましてもよい）。
装着性（チャイルドシートへの子供の着座）	⑦ ハーネス	スロット位置が分かりやすい。 調節が簡単かつ確実に行える。
	⑧ バックル	簡単な操作で確実なロックができる。 子供が解除しにくい解除力である（40N以上）。
	⑨ 着座状態	専門家がダミーを1分未満で適切に着座させられる。

試験の結果

結果の表示について

(0000年度実施)

A ○○○○○○○○○○

B 新基準適合品

C 株式会社○○○○○
◎○○○○○

D 

E 注2
kg 注3


E 使用性評価試験の評価
取扱説明書等
装着性
本体表示
取付性 本体機構

前面衝突試験の評価		乳児
破損		
シートバックの傾き		
項目	頭部のはみ出し	F
	胸部に生じる力	
	その他の事象	
評価	G 良	

H

- A** 通称名
- B** 適合基準 注1)
- C** メーカー名等、指定番号
- D** 試験対象製品の写真
- E** 使用性の評価項目ごとの点数をレーダーチャートで表示しています
乳児用……………オレンジ
ベッド型……………グリーン
幼児用……………ブルー
- F** 各項目の評価結果を○、○、×で表示しています
- G** 評価区分を「優」「良」「普通」「推奨せず」で表示しています
- H** 「破損」「その他の事象」の内容を記載しています

注1) 適合基準の「新基準」は2000年1月に施行された国内基準に、「米国基準」はFMVSS No.213に、「欧州基準」はECE R44/03にそれぞれ適合したものであることを示します。なお、2002年1月以降、新基準に適合して型式指定を受けた製品については、新基準に適合していることを明確にするために、指定番号が4桁となっています。また、それ以前に新基準に適合した製品については順次変更されています。

注2) 取扱説明用等のビデオが同封してある場合は、印で表示しています。これは評価の対象とはしていません。

注3) 昨年度の対象製品から試験時の製品の重量を で表示しています。これは評価の対象とはしていません。


乳児用

対象：体重10kg未満用
進行方向に対して後ろ向きに使用

オートベビープラス

(2004年度実施)

欧州基準適合品 グレコ

3.3kg 

E 使用性評価試験の評価
取扱説明書等
装着性
本体表示
取付性 本体機構

前面衝突試験の評価		乳児
破損		◎
シートバックの傾き		◎
項目	頭部のはみ出し	◎
	胸部に生じる力	○
	その他の事象	なし
評価	良	

レーマー・ベビーセーフプラス

(2003年度実施)

欧州基準適合品 株式会社ヤナセ

3.3kg 

E 使用性評価試験の評価
取扱説明書等
装着性
本体表示
取付性 本体機構

前面衝突試験の評価		乳児
破損		◎
シートバックの傾き		◎
項目	頭部のはみ出し	◎
	胸部に生じる力	◎
	その他の事象	なし
評価	優	

PAOPAOベビーNS

(2002年度実施)

新基準適合品 株式会社東海理化電機製作所
◎C-1007 / ◎C-157



E 使用性評価試験の評価
取扱説明書等
装着性
本体表示
取付性 本体機構

前面衝突試験の評価		乳児
破損		◎
シートバックの傾き		◎
項目	頭部のはみ出し	◎
	胸部に生じる力	◎
	その他の事象	なし
評価	優	

(2002年度実施)

エールベベ・プレコット

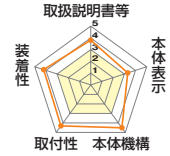


新基準適合品

株式会社カーメイト
①C-1017/②C-153

前面衝突試験の評価		乳児
項目	破損	◎
	シートバックの傾き	○
	頭部のはみ出し	○
	胸部に生じる力	◎
	その他の事象	なし
評価		普通

使用性評価試験の評価



(2002年度実施)

マキシコシベビー

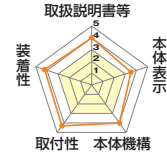


欧州基準適合品

コンビ株式会社

前面衝突試験の評価		乳児
項目	破損	◎
	シートバックの傾き	◎
	頭部のはみ出し	◎
	胸部に生じる力	◎
	その他の事象	なし
評価		優

使用性評価試験の評価



(2001年度実施)

プリムベビー

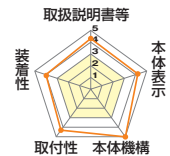


新基準適合品

コンビ株式会社
①C-1010/②C-146

前面衝突試験の評価		乳児
項目	破損	◎
	シートバックの傾き	◎
	頭部のはみ出し	◎
	胸部に生じる力	◎
	その他の事象	なし
評価		優

使用性評価試験の評価



(2001年度実施)

スーパーキャリー*

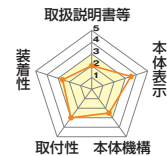


米国基準適合品

株式会社日本育児

前面衝突試験の評価		乳児
項目	破損	○
	シートバックの傾き	×
	頭部のはみ出し	◎
	胸部に生じる力	◎
	その他の事象	なし
評価		推奨せず

使用性評価試験の評価



*座席への固定については、2点式固定により試験を実施した。

(2001年度実施)

レーマー・ベビーセーフ

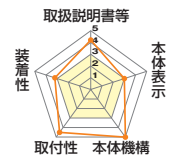


欧州基準適合品

株式会社ウエスタンコーポレーション

前面衝突試験の評価		乳児
項目	破損	○
	シートバックの傾き	◎
	頭部のはみ出し	◎
	胸部に生じる力	○
	その他の事象	なし
評価		普通

使用性評価試験の評価



(2001年度実施)

ディスカバリーベビーシート*

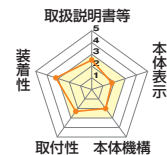


米国基準適合品

トライスターインターナショナル株式会社

前面衝突試験の評価		乳児
項目	破損	○
	シートバックの傾き	×
	頭部のはみ出し	◎
	胸部に生じる力	◎
	その他の事象	なし
評価		推奨せず

使用性評価試験の評価



*座席への固定については、2点式固定により試験を実施した。

(2002年度実施)

スーパーキャリー*



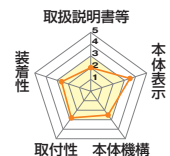
希望試験機種

米国基準適合品

株式会社日本育児

前面衝突試験の評価		乳児
項目	破損	○
	シートバックの傾き	◎
	頭部のはみ出し	◎
	胸部に生じる力	◎
	その他の事象	なし
評価		良

使用性評価試験の評価



*座席への固定については、3点式固定により試験を実施した。

希望試験機種とは、チャイルドシート製作者等からの申し出によるものです。

(2004年度実施)

乳児用・幼児用 (兼用タイプ)

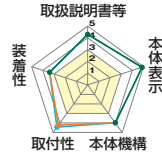
●レーダーチャートの線は以下のように色分けしています
乳児用……オレンジ 幼児用……ブルー

takata04-neo



10.0kg

使用性評価試験の評価



新基準適合品

タカタ株式会社
C-2046

前面衝突試験の評価		乳児	幼児
項目	破損	◎	◎
	シートバックの傾き	◎	—
	頭部のはみ出し	◎	—
	頭部の前方への移動量	—	◎
	頭部に生じる力	—	◎
	胸部に生じる力	◎	◎
	その他の事象	なし	なし
評価		優	優

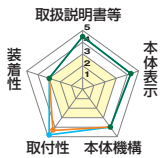
(2004年度実施)

トヨタ G-Child plus



6.7kg

使用性評価試験の評価



新基準適合品

タカタ株式会社
C-2047

前面衝突試験の評価		乳児	幼児
項目	破損	◎	◎
	シートバックの傾き	◎	—
	頭部のはみ出し	◎	—
	頭部の前方への移動量	—	○
	頭部に生じる力	—	◎
	胸部に生じる力	◎	◎
	その他の事象	なし	なし
評価		優	良

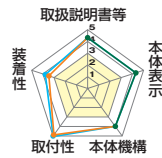
(2004年度実施)

ピピデビューN



6.2kg

使用性評価試験の評価



新基準適合品

リーマン株式会社
C-2054

前面衝突試験の評価		乳児	幼児
項目	破損	◎	◎
	シートバックの傾き	◎	—
	頭部のはみ出し	◎	—
	頭部の前方への移動量	—	○
	頭部に生じる力	—	◎
	胸部に生じる力	◎	◎
	その他の事象	なし	なし
評価		優	良

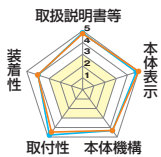
(2003年度実施)

ミリブ6000



9.1kg

使用性評価試験の評価



新基準適合品

タカタ株式会社
C-2023

前面衝突試験の評価		乳児	幼児
項目	破損	○	◎
	シートバックの傾き	◎	—
	頭部のはみ出し	◎	—
	頭部の前方への移動量	—	◎
	頭部に生じる力	—	◎
	胸部に生じる力	◎	◎
	その他の事象	なし	なし
評価		良	優

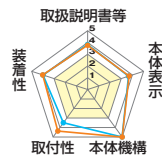
(2003年度実施)

プリムロング



7.4kg

使用性評価試験の評価



新基準適合品

コンビ株式会社
C-2030

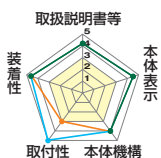
前面衝突試験の評価		乳児	幼児
項目	破損	◎	○
	シートバックの傾き	◎	—
	頭部のはみ出し	◎	—
	頭部の前方への移動量	—	○
	頭部に生じる力	—	◎
	胸部に生じる力	◎	◎
	その他の事象	なし	なし
評価		優	普通

(2002年度実施)

ミリブ3500



使用性評価試験の評価



新基準適合品

タカタ株式会社
C-1002 / C-158

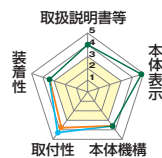
前面衝突試験の評価		乳児	幼児
項目	破損	◎	◎
	シートバックの傾き	◎	—
	頭部のはみ出し	◎	—
	頭部の前方への移動量	—	○
	頭部に生じる力	—	◎
	胸部に生じる力	◎	◎
	その他の事象	なし	なし
評価		優	良

(2002年度実施)

ゼウスターンEG



使用性評価試験の評価



新基準適合品

コンビ株式会社
C-1005 / C-180

前面衝突試験の評価		乳児	幼児
項目	破損	◎※1	◎※1
	シートバックの傾き	◎	—
	頭部のはみ出し	◎	—
	頭部の前方への移動量	—	○
	頭部に生じる力	—	◎
	胸部に生じる力	○	◎
	その他の事象	なし	※2
評価		良	良

※1 サポートレグに変形が発生したが、それは衝撃吸収機構の作動によるものである。
※2 骨盤拘束が弱く、腹部を圧迫しているが、それがバックル・ハーネスによってである。

(2002年度実施)

エールベベ・くるっとEX

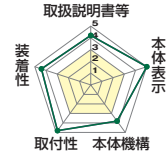


新基準適合品

機カームイト
①C-2009

項目	前面衝突試験の評価	
	乳児	幼児
破損	◎※1	◎※1
シートバックの傾き	○	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	○	◎
その他の事象	なし	※2
評価	普通	良

使用性評価試験の評価



※1 サポートレックに変形が発生したが、それは衝撃吸収機構の作動によるものである。
※2 骨盤拘束が弱く、腹部を圧迫しているが、それがバックル・ハーネスによってである。

(2001年度実施)

ミリブ4000

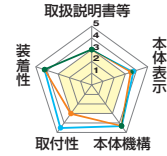


新基準適合品

タカタ株
①C-1001/②C-100

項目	前面衝突試験の評価	
	乳児	幼児
破損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象	なし	なし
評価	優	良

使用性評価試験の評価



(2003年度実施)

パミオデビューDX



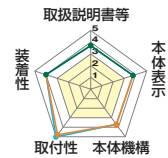
6.0kg

新基準適合品

希望試験機種
リーマン株
①C-2039

項目	前面衝突試験の評価	
	乳児	幼児
破損	◎	○
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	○
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象	なし	なし
評価	優	普通

使用性評価試験の評価



(2002年度実施)

ミリブ4000EX

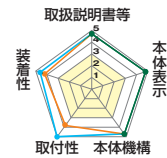


新基準適合品

希望試験機種
タカタ株
①C-2001

項目	前面衝突試験の評価	
	乳児	幼児
破損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	○	◎
その他の事象	なし	なし
評価	良	良

使用性評価試験の評価



(2001年度実施)

ネオシスファースト2.5S

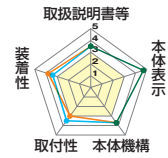


新基準適合品

希望試験機種
コンビ株
①C-1008/②C-142

項目	前面衝突試験の評価	
	乳児	幼児
破損	○	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	○	◎
その他の事象	なし	※
評価	普通	良

使用性評価試験の評価



※骨盤拘束が弱く、腹部を圧迫しているが、それがパッド・ハーネスによってである。

(2001年度実施)

ピピデビュー

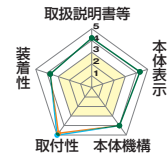


新基準適合品

希望試験機種
リーマン株
①C-1013/②C-155

項目	前面衝突試験の評価	
	乳児	幼児
破損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象	なし	※
評価	優	良

使用性評価試験の評価



※骨盤拘束が弱く、腹部を圧迫しているが、それがパッド・ハーネスによってである。

(2001年度実施)

ピピデビューフィットシェル

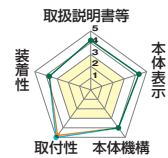


新基準適合品

希望試験機種
リーマン株
①C-1014/②C-156

項目	前面衝突試験の評価	
	乳児	幼児
破損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象	なし	※
評価	優	良

使用性評価試験の評価



※骨盤拘束が弱く、腹部を圧迫しているが、それがパッド・ハーネスによってである。

希望試験機種とは、
チャイルドシート製作者からの申し出によるものです。

(2004年度実施)

マシュマロJターンサーモ

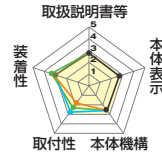
新基準適合品

アップリカ葛西株式会社
C-2038



14.2kg

使用性評価試験の評価



項目	前面衝突試験の評価		
	乳児	乳児 (ベッド型)	幼児
破損	◎	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—	—
底面の傾き	—	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—	—
頭部の前方への移動量	—	◎	◎
頭部に生じる力	—	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎	◎
その他の事象	なし	なし	なし
評価	優	良	普通

乳児用・幼児用

(兼用タイプ-乳児用ベッド型を含む。)

●レーダーチャートの線は以下のように色分けしています
乳児用……オレンジ ベッド型……グリーン 幼児用……ブルー

(2002年度実施)

マシュマロJフィックスサーモ

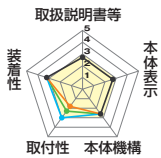
新基準適合品

アップリカ葛西株式会社
C-2011



14.2kg

使用性評価試験の評価



項目	前面衝突試験の評価		
	乳児	乳児 (ベッド型)	幼児
破損	◎	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—	—
底面の傾き	—	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—	—
頭部の前方への移動量	—	◎	◎
頭部に生じる力	—	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎	◎
その他の事象	なし	なし	*
評価	優	良	良

※骨盤拘束が弱く、腹部を圧迫しているが、それがベッド・ハーネスによってである。

(2004年度実施)

パワーベスト

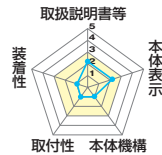
新基準適合品

エムズジニック株式会社
C-2026



0.3kg

使用性評価試験の評価



項目	前面衝突試験の評価	
	乳児	幼児
破損	◎	◎
頭部の前方への移動量	◎	◎
頭部に生じる力	◎	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象	なし	*

※衝突試験時にダミーが大きく前屈し、面圧計がダミー腹部に挟まれる現象により大きな圧力が測定された。この圧力と拘束装置による腹部圧迫の圧力を明確に区分できず、腹部圧迫の程度を評価できないため、全体評価は行わないこととした。

幼児用

対象：体重9～18kg以下用
進行方向に対して前向きに使用

(2004年度実施)

マシュマロジュニアエア-8サポート/インパクトシールド

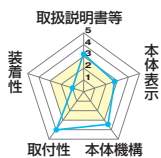
新基準適合品

アップリカ葛西株式会社
C-2048



4.2kg

使用性評価試験の評価



項目	前面衝突試験の評価	
	乳児	幼児
破損	◎	◎
頭部の前方への移動量	◎	◎
頭部に生じる力	◎	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象	なし	×
評価	推奨せず	推奨せず

※腹部を圧迫し、幼児の身体に傷害を与える恐れがあった。

(2004年度実施)

トラベルベスト

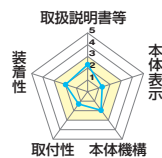
米国基準適合品

株式会社育兒



1.2kg

使用性評価試験の評価



項目	前面衝突試験の評価	
	乳児	幼児
破損	×	※1
頭部の前方への移動量	◎	◎
頭部に生じる力	◎	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象	なし	×
評価	推奨せず	推奨せず

※1) シートベルトの切り裂きが発生した。2) 背中部の強度保持板が破損した。
※2 腹部を圧迫し、幼児の身体に傷害を与える恐れがあった。

(2004年度実施)

ハイバックブースター

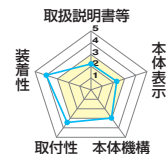
米国基準適合品

㈱日本育児



3.5kg

使用性評価試験の評価



前面衝突試験の評価		幼児
破損		◎
頭部の前方への移動量		○
頭部に生じる力		◎
胸部に生じる力		◎
その他の事象		なし
評価		良

(2003年度実施)

マキシコシチャイルド

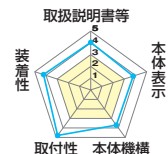
欧州基準適合品

コンビ株式会社



6.8kg

使用性評価試験の評価



前面衝突試験の評価		幼児
破損		◎
頭部の前方への移動量		○
頭部に生じる力		○
胸部に生じる力		◎
その他の事象		なし
評価		普通

(2003年度実施)

マシュマロフィットVシールド

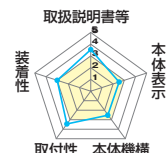
新基準適合品

アップリカ葛西㈱
①C-2020



5.7kg

使用性評価試験の評価



前面衝突試験の評価		幼児
破損		×*
頭部の前方への移動量		○
頭部に生じる力		◎
胸部に生じる力		◎
その他の事象		なし
評価		推奨せず

*幼児の身体に傷害を与える恐れのあるフレームの破損が発生した。

(2003年度実施)

ハイパーベスト

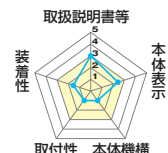
新基準適合品

全国防災事業協業組合
①C-2014



0.4kg

使用性評価試験の評価



前面衝突試験の評価		幼児
破損		◎*
頭部の前方への移動量		◎
頭部に生じる力		◎
胸部に生じる力		◎
その他の事象		×

チャイルドシートの腰ベルトが、取扱説明書の使用方法通りにはダミーの腰骨部位を充分におおむ位置に装着できないものであったため、各項目の結果のみを記載し、全体の評価は行わないこととした。

*腰ベルト位置決めテープが破損したが、それは衝撃吸収機構の作動によるものである。

(2002年度実施)

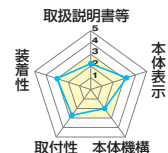
ファンキッズ

新基準適合品

㈱ミクニ
①C-1006/①C-174



使用性評価試験の評価



前面衝突試験の評価		幼児
破損		○
頭部の前方への移動量		◎
頭部に生じる力		◎
胸部に生じる力		◎
その他の事象		*
評価		良

*肩盤拘束が弱く、腰部を圧迫しているが、それがシールドによってである。

(2002年度実施)

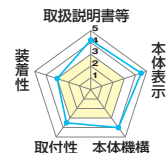
プリムキッズ

新基準適合品

コンビ株式会社
①C-1011/①C-147



使用性評価試験の評価



前面衝突試験の評価		幼児
破損		◎
頭部の前方への移動量		○
頭部に生じる力		◎
胸部に生じる力		◎
その他の事象		なし
評価		良

(2002年度実施)

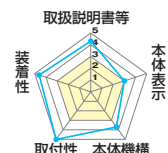
レーマー・ロード

欧州基準適合品

㈱ヤマセ



使用性評価試験の評価



前面衝突試験の評価		幼児
破損		◎*
頭部の前方への移動量		○
頭部に生じる力		◎
胸部に生じる力		◎
その他の事象		なし
評価		良

*肩用パッドの破損が発生したが、それは衝撃吸収機構の作動によるものである。

(2001年度実施)

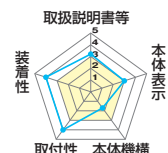
PAOPAOPAOチャイルドフォービー

新基準適合品

㈱東海理化電機製作所
①C-1015/①C-104



使用性評価試験の評価



前面衝突試験の評価		幼児
破損		◎*
頭部の前方への移動量		○
頭部に生じる力		◎
胸部に生じる力		◎
その他の事象		なし
評価		良

*サポートレックに変形が発生したが、それは衝撃吸収機構作動によるものである。

(2001年度実施)

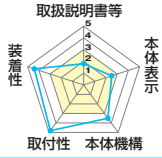
ピジョンコンコルドフィックスマックス

欧州基準適合品

ビジョン(株)



使用性評価試験の評価



前面衝突試験の評価		幼児
破損		◎
頭部の前方への移動量		○
項目	頭部に生じる力	◎
	胸部に生じる力	◎
	その他の事象	なし
評価		良

(2001年度実施)

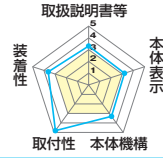
レーマー・キング

欧州基準適合品

株式会社ウエスタンコーポレーション



使用性評価試験の評価



前面衝突試験の評価		幼児
破損		◎
頭部の前方への移動量		○
項目	頭部に生じる力	◎
	胸部に生じる力	◎
	その他の事象	なし
評価		良

(2004年度実施)

レーマー・キングTSプラス

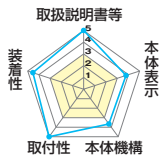
欧州基準適合品

希望試験機種
株式会社ヤマセ



10.1kg

使用性評価試験の評価



前面衝突試験の評価		幼児
破損		◎
頭部の前方への移動量		○
項目	頭部に生じる力	◎
	胸部に生じる力	○
	その他の事象	なし
評価		普通

(2001年度実施)

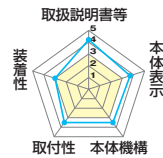
エールベベ・プレシールド

新基準適合品

希望試験機種
株式会社カーメイト
◎C-1016/◎C-150



使用性評価試験の評価

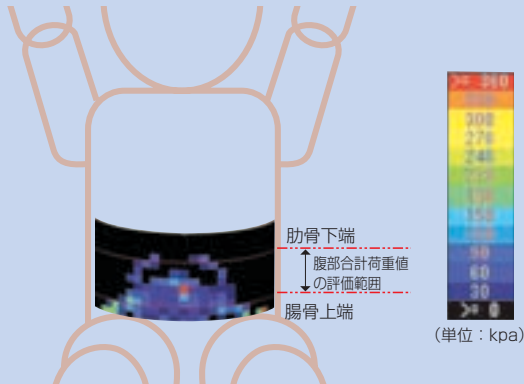


前面衝突試験の評価		幼児
破損		○
頭部の前方への移動量		○
項目	頭部に生じる力	◎
	胸部に生じる力	◎
	その他の事象	※
評価		普通

※骨盤拘束が弱く、腹部を圧迫しているが、それがシールドによってである。

希望試験機種とは、
チャイルドシート製作者等からの申し出によるものです。

腹部圧迫の計測結果



結果の見方

衝突時の腹部への圧迫の程度について測定するため、ダミーの腹部に面圧計を装着して腹部に掛かる圧力を測定しました。面圧計は薄い(約0.1mm)フィルムを貼り合わせたもので、各格子における動的な圧力を計測できます。

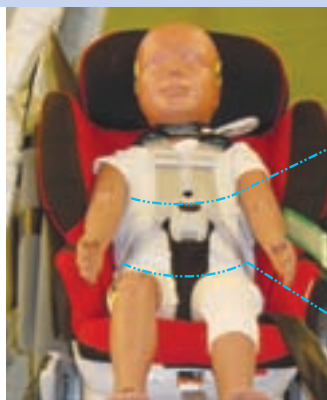
ダミー腹部の面圧計の各セルにおいて圧力(Pa)を測定します。その圧力を荷重(N)に変換した後に、腹部に相当する縦方向の6行と横方向の25列の範囲(腹部合計荷重値の評価範囲)における荷重の総和を腹部合計荷重(N)として、その腹部合計荷重が1.38kNを超えた場合、『X』として評価します。

なお、腹部合計荷重が最大となった時の圧力分布図については、最大荷重が発生した時間の圧力分布の状況を見やすくしたものであり、実際の面積とは異なります。

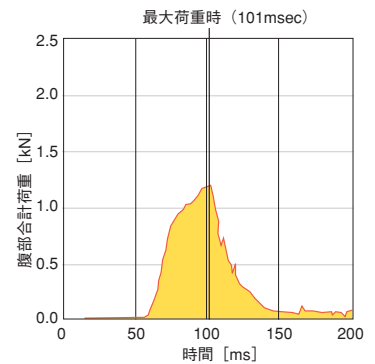
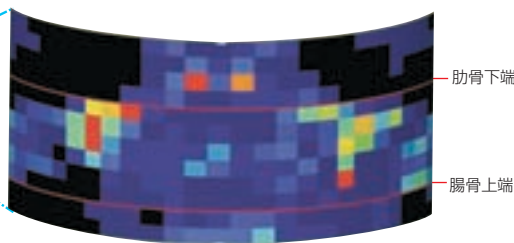
マシュマロJターンサーモ アプリカ葛西(株)

(2004年度実施)

腹部合計荷重値
1.204kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



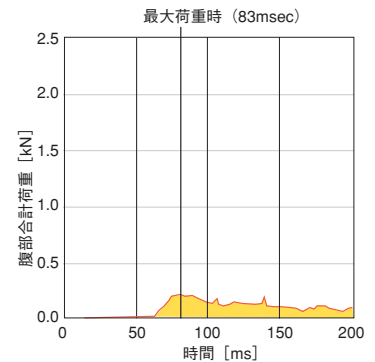
takata04-neo タカタ(株)

(2004年度実施)

腹部合計荷重値
0.199kN



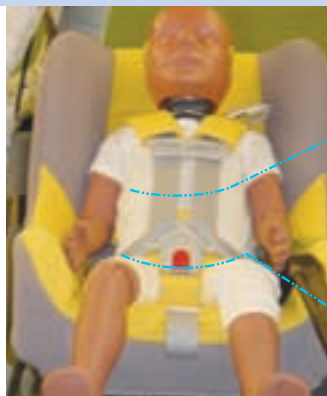
腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



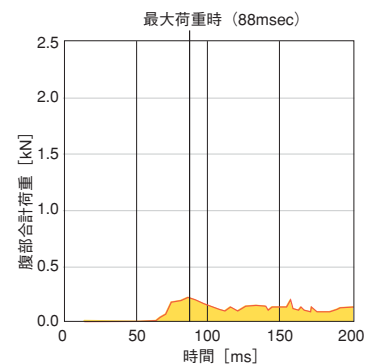
トヨタ G-Child plus タカタ(株)

(2004年度実施)

腹部合計荷重値
0.224kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



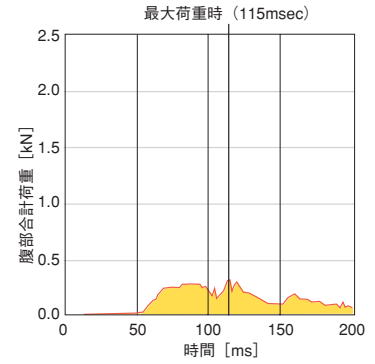
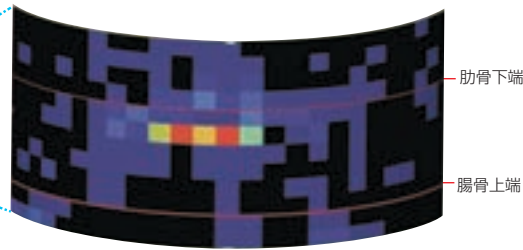
ピピデビューN リーマン(株)

(2004年度実施)

腹部合計荷重値
0.306kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



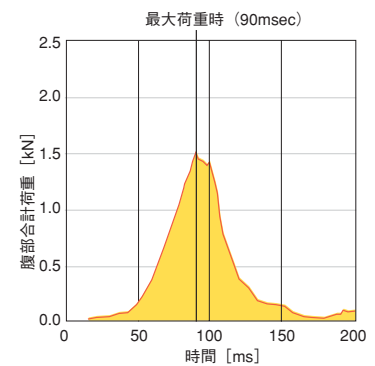
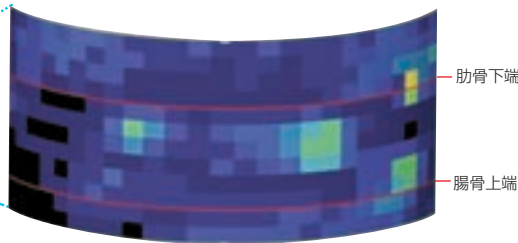
マッシュロジュニアエア-8サポート/インパクトシールド アプリカ葛西(株)

(2004年度実施)

腹部合計荷重値
1.488kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



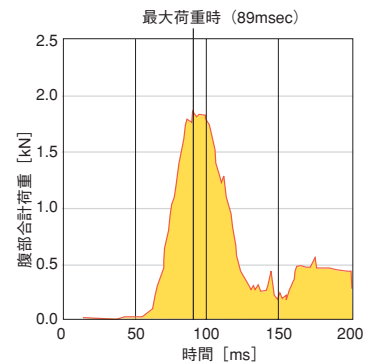
トラベルベスト (株)日本育児

(2004年度実施)

腹部合計荷重値
1.877kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



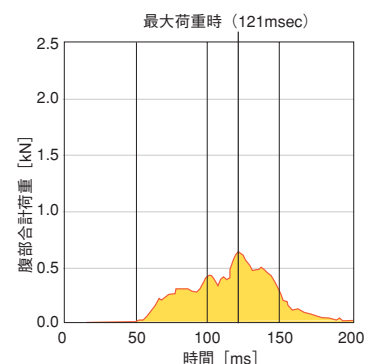
ハイバックブースター (株)日本育児

(2004年度実施)

腹部合計荷重値
0.634kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



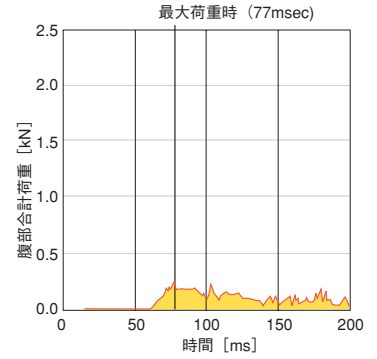
ミリブ6000 タカタ(株)

(2003年度実施)

腹部合計荷重値
0.245kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



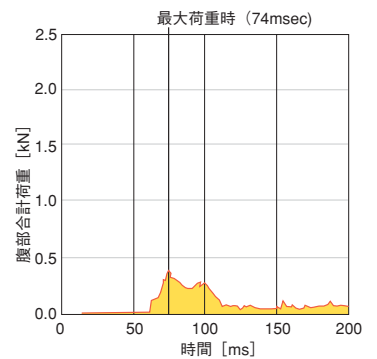
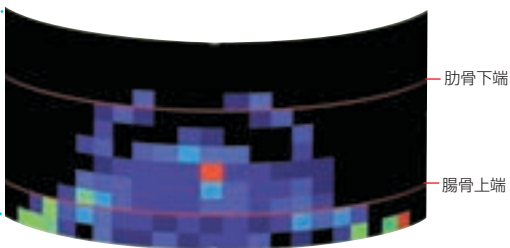
プリムロング コンビ(株)

(2003年度実施)

腹部合計荷重値
0.384kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



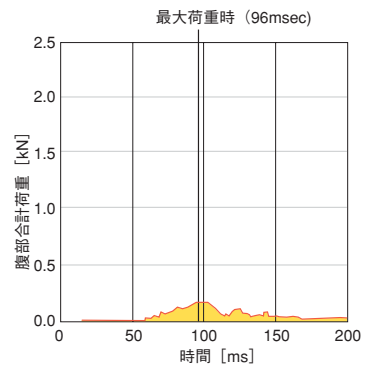
マキシコシチャイルド コンビ(株)

(2003年度実施)

腹部合計荷重値
0.175kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



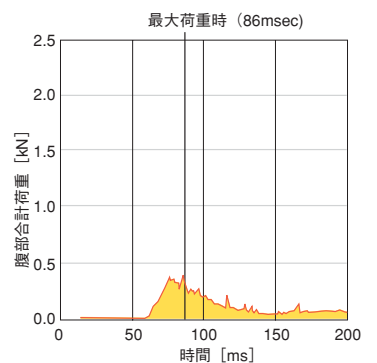
マシュマロフィッツVシールド アプリカ葛西(株)

(2003年度実施)

腹部合計荷重値
0.403kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



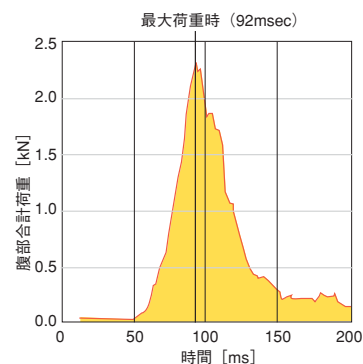
ハイパーベスト 全国防災事業協業組合

(2003年度実施)

腹部合計荷重値
2.328kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



レーマー・キングTSプラス (株)ヤナセ

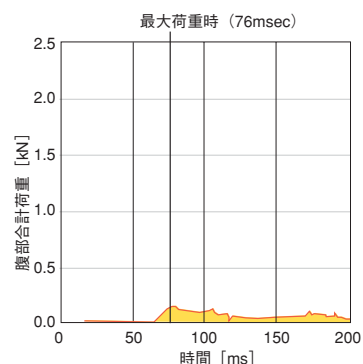
(2004年度実施)

[希望試験機種]

腹部合計荷重値
0.141kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



パミオデビューDX リーマン(株)

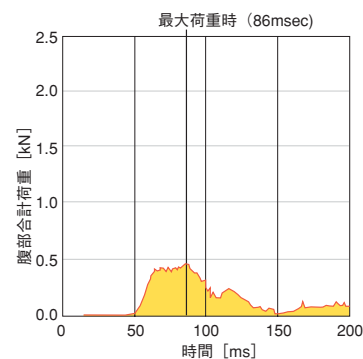
(2003年度実施)

[希望試験機種]

腹部合計荷重値
0.462kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



チャイルドシートの評価結果詳細一覧表(参考)

指定番号	通称名及びメーカー名等	試験実施年度	適合基準(※1)	用途	前面衝突試験							使用性評価試験							
					取付部等の破損	シートバックの傾き(°)	ベッド底面の傾き	頭部のはみ出し(mm)	頭部移動量(mm)	頭部に生じる力(G)	胸部に生じる力(G)	その他の事象	評価	取扱説明書等	本体表示	本体機構	取付性	装着性	
乳児用	オートベビープラス グレコ	04	欧州基準	乳児用	○	○		○				○	なし	良	1.2	2.0	4.0	4.0	3.4
	レーマー・ベビーセーフプラス(株)ヤナセ	03	欧州基準	乳児用	○	○		○				○	なし	優	5.0	4.5	4.5	5.0	4.6
	◎C-1007 ◎C-157 PAOPAOベビーNS(株)東海理化電機製作所	02	新基準	乳児用	○	○		○				○	なし	優	2.8	2.8	3.0	4.3	3.4
	◎C-1017 ◎C-153 エールベベ・プレコット(株)カーメイト	02	新基準	乳児用	○	○		○				○	なし	普通	3.8	3.3	4.5	4.3	4.2
	マキシコシベビーコンビ(株)	02	欧州基準	乳児用	○	○		○				○	なし	優	4.0	3.5	4.0	4.3	4.2
	◎C-1010 ◎C-146 プリムベビーコンビ(株)	01	新基準	乳児用	○	○		○				○	なし	優	4.3	4.2	5.0	4.3	4.0
	スーパーキャリー(※2)(株)日本育児	01	米国基準	乳児用	○	×		○				○	なし	推奨せず	2.0	3.5	2.5	3.0	2.6
	レーマー・ベビーセーフ(株)ウェスタンコーポレーション	01	欧州基準	乳児用	○	○		○				○	なし	普通	4.2	3.0	5.0	4.5	3.2
	ディスカバリーベビーシート トライスターインターナショナル(株)	01	米国基準	乳児用	○	×		○				○	なし	推奨せず	2.5	1.8	2.0	2.3	3.2
	スーパーキャリー(※2)希望試験機種(株)日本育児	02	米国基準	乳児用	○	○		○				○	なし	良	2.0	3.5	2.5	2.8	2.6
乳児用・幼児用(兼用タイプ)	◎C-2038 マシュマロJターンサーモアップリカ葛西(株)	04	新基準	乳児用	○	○		○				○	なし	優	2.8	2.8	2.6	1.8	3.0
				乳児用(ベッド型)	○		○		○		○	なし	良	2.8	2.8	2.6	2.3	3.4	
				幼児用	○				○	○	○	なし	普通	2.8	2.8	2.6	2.8	3.0	
	◎C-2046 takata04-neo タカタ(株)	04	新基準	乳児用	○	○		○				○	なし	優	4.3	4.8	4.0	4.3	3.4
				幼児用	○				○	○	○	なし	優	4.3	4.8	4.0	4.5	3.4	
	◎C-2047 トヨタ G-Child plus タカタ(株)	04	新基準	乳児用	○	○		○				○	なし	優	4.5	4.3	4.0	4.3	3.0
				幼児用	○				○	○	○	なし	良	4.5	4.3	4.0	4.8	3.0	
	◎C-2054 ビビデビューN リーマン(株)	04	新基準	乳児用	○	○		○				○	なし	優	4.3	4.3	4.0	4.8	3.4
				幼児用	○				○	○	○	なし	良	4.3	4.3	4.0	5.0	3.8	
	◎C-2023 ミリブ6000 タカタ(株)	03	新基準	乳児用	○	○		○				○	なし	良	4.8	5.0	4.3	4.5	4.0
				幼児用	○				○	○	○	なし	優	4.8	4.8	4.3	4.8	4.0	
	◎C-2030 プリムロング コンビ(株)	03	新基準	乳児用	○	○		○				○	なし	優	3.8	3.7	5.0	4.3	4.0
				幼児用	○				○	○	○	なし	普通	3.8	3.7	5.0	3.5	4.0	
	◎C-1002 ◎C-158 ミリブ 3500 タカタ(株)	02	新基準	乳児用	○	○		○				○	なし	優	4.2	4.5	4.0	3.0	4.6
				幼児用	○				○	○	○	なし	良	4.2	4.5	4.0	5.0	4.6	
	◎C-1005 ◎C-180 ゼウスターンEG コンビ(株)	02	新基準	乳児用	◎(※3)	○		○				○	なし	良	4.0	4.8	3.6	3.8	3.4
				幼児用	◎(※3)				○	○	○	(※5)	良	4.0	4.8	3.6	4.3	3.4	
	◎C-2009 エールベベ・くるっとEX(株)カーメイト	02	新基準	乳児用	◎(※3)	○		○				○	なし	普通	4.2	5.0	3.8	4.8	4.4
幼児用				◎(※3)				○	○	○	(※5)	良	4.2	5.0	3.8	4.8	4.4		
◎C-2011 マシュマロJフィックスサーモアップリカ葛西(株)	02	新基準	乳児用	○	○		○				○	なし	優	2.7	2.7	2.6	1.8	3.2	
			乳児用(ベッド型)	○		○		○	○	○	なし	良	2.7	2.7	2.6	2.3	3.2		
			幼児用	○				○	○	○	(※6)	良	2.7	2.7	2.6	3.0	3.2		

指定番号	通称名及びメーカー名等	試験実施年度	適合基準※1	用途	前面衝突試験										使用性評価試験				
					取付部等の破損	シートバックの傾き(°)	ベッド底面の傾き	頭部のはみ出し(mm)	頭部移動量(mm)	頭部に生じる力(G)	胸部に生じる力(G)	その他の事象	評価	取扱説明書等	本体表示	本体機構	取付性	装着性	
◎C-1001 ◎C-100	ミリブ 4000 タカタ(株)	01	新基準	乳児用	◎	◎		◎			◎		なし	優	3.0	3.5	4.3	3.0	4.2
				幼児用	◎	56				◎		◎		なし	良	3.0	3.7	4.3	4.5
◎C-2039	パミオデビューDX リーマン(株)	03	新基準	乳児用	◎	◎		◎			◎		なし	優	3.7	3.8	3.7	4.8	4.0
				幼児用	○	54				◎	◎	◎		なし	普通	3.7	3.8	3.7	5.0
◎C-2001	ミリブ 4000EX タカタ(株)	02	新基準	乳児用	◎	◎		◎			◎		なし	良	4.7	4.8	4.7	3.8	4.2
				幼児用	◎	52				◎	◎	◎		なし	良	4.7	4.8	4.7	5.0
◎C-1008 ◎C-142	ネオシスファースト2.5S コンビ(株)	01	新基準	乳児用	○	◎		◎			◎		なし	普通	3.5	4.7	3.7	3.0	3.8
				幼児用	◎	47				◎	◎	◎	(※6)	良	3.5	4.7	3.7	3.5	3.4
◎C-1013 ◎C-155	ビビデビュー リーマン(株)	01	新基準	乳児用	◎	◎		◎			◎		なし	優	4.2	4.3	4.0	4.8	3.7
				幼児用	◎	49				◎	◎	◎	(※6)	良	4.2	4.3	4.0	5.0	3.7
◎C-1014 ◎C-156	ビビデビューフィットシェル リーマン(株)	01	新基準	乳児用	◎	◎		◎			◎		なし	優	4.2	4.3	4.0	4.8	3.7
				幼児用	◎	49				◎	◎	◎	(※6)	良	4.2	4.3	4.0	5.0	3.7
◎C-2026	パワーベスト エムズシンティック(株)	04	新基準	幼児用	◎				◎	◎	◎	(※11)	(※11)	2.2	2.2	1.0	1.0	1.0	
◎C-2048	マシュロジュニアエア-8サポート/ インパクトシールド アプリケーション葛西(株)	04	新基準	幼児用	◎				◎	◎	◎	×	推奨 せず	3.2	2.8	3.5	4.0	1.0	
-	トラベルベスト 日本育児	04	米国基準	幼児用	×	(※13)			◎	◎	◎	×	推奨 せず	2.3	1.3	2.0	1.3	2.0	
-	ハイバックブースター 日本育児	04	米国基準	幼児用	◎				◎	◎	◎	なし	良	2.2	2.3	3.0	3.5	4.0	
-	マキシコシチャイルド コンビ(株)	03	欧州基準	幼児用	◎				◎	◎	◎	なし	普通	4.0	3.8	3.7	4.8	4.2	
◎C-2020	マシュロフィットVシールド アプリケーション葛西(株)	03	新基準	幼児用	×	(※9)			◎	◎	◎	なし	推奨 せず	3.7	2.7	2.7	3.5	3.0	
◎C-2014	ハイパーベスト 全国防災事業協業組合	03	新基準	幼児用	◎	(※8)			◎	◎	◎	×	(※10)	3.0	2.5	1.0	1.0	1.7	
◎C-1006 ◎C-174	ファンキッズ 株ミクニ	02	新基準	幼児用	○				◎	◎	◎	(※7)	良	2.2	3.2	2.0	2.7	3.0	
◎C-1011 ◎C-147	プリムキッズ コンビ(株)	02	新基準	幼児用	◎				◎	◎	◎	なし	良	4.2	4.5	4.0	3.5	3.0	
-	レーマー・ロード 株ヤナセ	02	欧州基準	幼児用	◎	(※4)			◎	◎	◎	なし	良	4.3	3.0	3.7	5.0	4.6	
◎C-1015 ◎C-104	PAOPAO チャイルドフォービー 株東海理化電機製作所	01	新基準	幼児用	◎	(※3)			◎	◎	◎	なし	良	3.2	3.0	1.7	4.0	4.0	
-	ビジョンコンフォルディックス ビジョン(株)	01	欧州基準	幼児用	◎				◎	◎	◎	なし	良	1.8	2.5	3.5	4.8	4.4	
-	レーマー・キング 株ウェスタンコーポレーション	01	欧州基準	幼児用	◎				◎	◎	◎	なし	良	3.3	3.2	3.3	4.8	3.6	
-	レーマー・キングTSプラス 株ヤナセ	04	欧州基準	幼児用	◎				◎	◎	◎	なし	普通	5.0	3.8	3.7	5.0	4.6	
◎C-1016 ◎C-150	エールベベ・プレシールド 株カーメイト	01	新基準	幼児用	○				◎	◎	◎	(※7)	普通	4.2	3.7	3.5	3.5	3.0	

※1 適合基準欄の「新基準」は2000年1月に施行された新しい国内基準に、「欧州基準」はECE R44/03に、「米国基準」はFMVSS No.213にそれぞれ適合したものであることを示す。
 ※2 座席への固定方法は、2点固定または3点固定のどちらでも可能である。2001年度のアセスメントにおいては2点固定、2002年度の「スーパーキャリアー」については3点固定で試験を行った。
 ※3 サポートレグに変形が発生したが、それは衝撃吸収機構の作動によるものである。
 ※4 肩用パッドの破損が発生したが、それは衝撃吸収機構の作動によるものである。
 ※5 骨盤拘束が弱く、腹部を圧迫しているが、それがバックル・ハーネスによってである。
 ※6 骨盤拘束が弱く、腹部を圧迫しているが、それがパッド・ハーネスによってである。
 ※7 骨盤拘束が弱く、腹部を圧迫しているが、それがシールドによってである。
 ※8 腰ベルト位置決めテープが破損したが、それは衝撃吸収機構の作動によるものである。
 ※9 幼児の身体に傷害を与える恐れのあるフレームの破損が発生した。
 ※10 チャイルドシートの子供用シートが、取扱説明書の使用方法通りにはダミーの腰部部位を充分におおいう位置に装着できないものであったため、各項目の結果のみを記載し、全体の評価は行わないこととした。
 ※11 衝突試験時にダミーが大きく前屈し、面圧計がダミー腹部に挟まれる現象により大きな圧力が測定された。この圧力と拘束装置による腹部圧迫の圧力を明確に区分できず、腹部圧迫の程度を評価できないため、全体評価は行わないこととした。
 ※12 腹部を圧迫し、幼児の身体に傷害を与える恐れがあった。
 ※13 1) シートベルトの切り裂きが発生した。2) 背中部の強度保持板が破損した。
 ※14 黄色は今年度試験を行った製品を示す。

チャイルドシートの使い方のポイント

チャイルドシートの種類 (対象となる体重、身長、年齢は目安です。)

■乳児用

体重10kg未満の乳児を対象とし、身長が70cm以下で、新生児から1歳くらいまで。

乳児用には「後ろ向き」と「ベッド型」があります。

後ろ向き

ベッド型



■幼児用 (前向き専用)

体重9～18kgの幼児を対象とし、身長が65～100cmで、1～4歳くらいまで。

なお、1台のチャイルドシートで、乳児用と幼児用が兼用できる「乳児・幼児兼用」もあります。



■学童用

体重15～36kgの子供を対象とし、身長135cm以下で、4～10歳くらいまで。

座面を上げて腰ベルトの位置を腰部に合わせることで、大人用のシートベルトが使えるようにするものです。

学童用チャイルドシートの性能は車両のシートベルトの性能によるものが大きいこともあり、アセスメントの対象としていません。



チャイルドシートの基準

国土交通省の安全基準に適合したのものには下のような型式指定マークか、型式認定マークが製品に貼付してあります。

国土交通省型式指定マーク (新基準に適合しているもの)

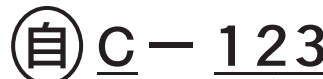
2000/01 ←基準施行年月
UNIVERSAL ←汎用型チャイルドシート (注)
9-36Kg ←対象とする年少者の体重範囲



C-1234 ←チャイルドシートを示す記号及び国土交通大臣が告示した指定番号

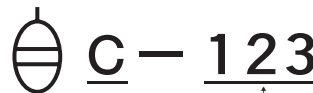
(注)
車両限定型チャイルドシートの場合は、「SPECIFICVEHICLE」
兼用型チャイルドシートの場合は、「COMPATIBLE」

国土交通省型式指定マーク



↑ ↑
チャイルドシートを示す記号 指定番号

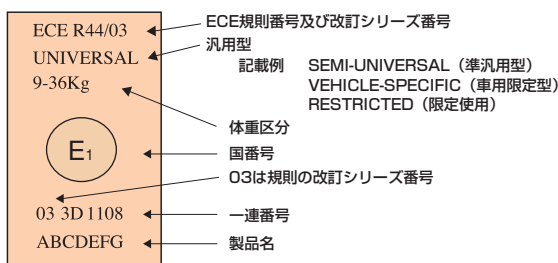
運輸省型式認定マーク (～平成10年11月)



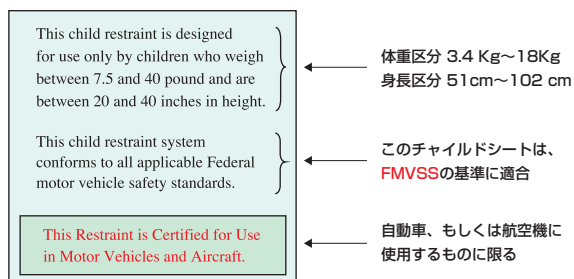
↑ ↑
チャイルドシートを示す記号 認定番号

また、欧州の基準 (ECE R44/03) または米国の基準 (FMVSS No.213) に適合したものもあります。

欧州の基準 (ECE 規則 R44/03) 適合マーク



米国の基準 (FMVSS No.213) 適合マーク



自動車との適合性

すべてのチャイルドシートがすべての自動車に取り付けられるわけではありません。

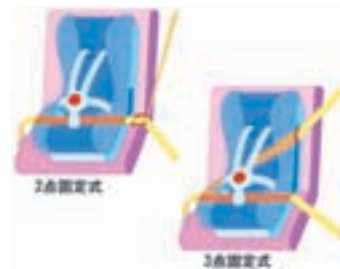
チャイルドシートメーカーなどから出されている「車種別チャイルドシート適合表」などを参考に取り付けられるかどうかを確認して、自分の自動車に適合したチャイルドシートを選びましょう。

取り付け方法

チャイルドシートの取り付け方法は、製品によって異なるため、それぞれの取扱説明書に従って取り付けてください。

市販されている多くのチャイルドシートは、自動車のシートベルトを用いて座席に固定する方式が主流であり、シートベルトの通し方により2点固定式と3点固定式があります。

チャイルドシートをしっかりと取り付けるためには、シートベルトの種類別機能を理解する必要があります。



◆ELR式（緊急ロック式巻き取り装置）シートベルト

通常はシートベルトを自由に引き出せますが、急ブレーキなどの衝撃を感知した時のみシートベルトがロックする機能（ELR機能）を備えたものです。

◆チャイルドシート固定機能付シートベルト（ALR付ELR式シートベルト）

通常はELR機能ですが、シートベルトをすべて引き出せばALR機能（自動ロック付巻き取り装置）に切り替わり、巻き込み方向にのみ動きますが引き出せなくなります。チャイルドシートの取り付けに緩みが生じにくく、取り付けが比較的容易です。

また、自動車によっては、座席の背もたれ部分を引き出すとチャイルドシートになる座席（チャイルドシート内蔵シート）や、シートベルトを使わずチャイルドシートを固定できる座席（共通取付具方式シート）が採用されています。

◆チャイルドシート内蔵シート

通常は座席（後席が一般的）の中に折りたたんで収納されていますが、子供を乗車させるときには引き出して使用することができる子供用の座席です。



チャイルドシート内蔵シート

◆共通取付具方式（ISOFIX対応）シート

ISOFIX対応のチャイルドシート取付具が座面の奥に付いている座席です。車種毎に指定されたISOFIX対応チャイルドシートを組み合わせで使用します。



共通取付具方式（ISOFIX対応）シート

取り付け時の注意点

①後部座席に取り付ける

チャイルドシートは、安全のために後部座席に取り付けましょう。

助手席にエアバッグが装備されている場合に助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付けることは、極めて危険ですので絶対にやめましょう。

②しっかりと固定する

取扱説明書に従いしっかりと固定することが必要です。前向きのチャイルドシートの場合は、取り付けられたチャイルドシートの上端部に前方向に力を加えても大きく動かないよう（約3cm以下が目安）しっかりと固定しましょう。

「チャイルドシート固定機能付シートベルト」が付いている自動車の場合（後部座席の左右が多い）は、チャイルドシートを取り付けた後シートベルトをすべて引き出し、ALR機能を作動させましょう。

③着座時の火傷に注意する

炎天下での駐車時には、チャイルドシート本体、バックル、ベルトの金具部分などが熱くなり、火傷するおそれがあります。子供を着座させる際には、各部に触れてみて、火傷をしないことを確認した上で使用しましょう。

チャイルドシート着用の効果

チャイルドシートの着用、非着用の事故データを見ると、着用時と非着用時とでは致死率、死亡重傷率に大きな差があることがわかります。

◆平成15年中の6歳未満の幼児の自動車同乗中の交通事故発生状況

着用の有無	被害状況		被害者数		被害率	
	死者数	重傷者数	軽傷者数	計	致死率	死亡重傷率
チャイルドシート着用	4人	56人	7,153人	7,213人	0.06%	0.83%
チャイルドシート非着用	14人	44人	4,994人	5,052人	0.28%	1.15%

(注) ・大破事故による被害を除く。着用・非着用不明は除く。
 ・致死率=死者数÷全死傷者数×100[%]
 ・死亡重傷率=(死者数+重傷者数)÷全死傷者数×100[%]
 ・警察庁資料より抜粋

自動車不具合情報ホットライン

リコールの適正な実施のために自動車の不具合情報の提供を

- フリーダイヤル 0120-744-960 (受付時間：9時～12時、13時～17時)
- 国土交通省ホームページ (<http://www.mlit.go.jp>) に専用の自動車不具合情報収集コーナー
- 24時間不具合情報自動受付 03-3580-4434

このホットラインでは、自動車の設計または製造の過程に起因すると思われる故障、事故、車両火災などにかかる自動車の不具合情報を専用を受け付けます。なお、商品性、金銭上の問題などは対象外です。

チャイルドシートアセスメント

このパンフレットに対するご意見、ご要望などについては、下記にご連絡ください。

- 国土交通省 自動車交通局 技術安全部 審査課
〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3
TEL 03-5253-8111(代表) FAX 03-5253-1640
- 独立行政法人 自動車事故対策機構 企画部 安全情報グループ
〒102-0083 東京都千代田区麹町6-1-25
TEL 03-5276-4455 FAX 03-3239-9336

監修：国土交通省 発行：独立行政法人 自動車事故対策機構©

※無断転載を禁ず

このパンフレットの内容はインターネットでもご覧になれます。

- 国土交通省のホームページ

<http://www.mlit.go.jp>

- 独立行政法人 自動車事故対策機構のホームページ

<http://www.nasva.go.jp>



安全な車選びのために自動車アセスメントについてもご覧下さい。

自動車事故対策機構は、独立行政法人として平成15年10月1日に設立され、自動車事故の発生の防止と、被害者保護の増進に向けて幅広い業務を推進しています。